

# 京都教区時報

京都教区広報委員会  
(編集長 村上透磨)

京都教区本部事務局  
京都市中京区  
河原町通三条上る

TEL 075-211-3025

FAX 075-211-3041

honbu@kyoto.catholic.jp

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

4頁～5頁 2019年 京都司教区 決算報告

点訳版「京都教区時報」〈無料〉  
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。

TEL・FAX 079-431-8601

2020年 司教年頭書簡を読む⑤

いのちと平和

この原稿を書いている今日は四月五日、枝の主日です。新型コロナウイルスの感染拡大によって、京都教区では三月一日の四旬節第一主日を最後に公開のミサが中止となり、聖週間の典礼も会衆なしで行う事態となっております。現在のところ収束の目途はまったく立っておらず、むしろ、日本でも感染者が三千人を突破し、特に東京では連日百人を超える新たな感染者が確認され、非常事態宣言前夜ともいうべき様相を呈しています。この時報を皆様が手にされる頃、ミサが再開されているのか、それとも状況はさらに深刻化しているのか、まったく予測できません。

一方、密閉・密集・密接を避けることが叫ばれ続け、不要不急の集まりを控えるなかで、人々が改めて「つながり」ということを意識していることが注目されます。年頭書簡には「わたしたちは神に愛される同じ子どもとして、お互い大切に思い、誠実な態度で接し、心を開いて交わります。このような『いのちと平和のつながり』を生きたことが、神の望む平和です」とあります。感染拡大を少しでも防ぐために、多くの人がつながりを意識しながら、買い占めを控えたり、やりました



会衆なしで祝われた枝の主日に

いことを我慢したり、SNSでメッセージを発信したり、痛みながらも連帯していこうという空気が、世界中に満ちていくのを感じています。

教会とは、エクレシアというギリシア語の訳ですが、これは「呼び集められた人々」という言葉です。「集まる」ということに教会の本質があるのだと思います。今回、「集まる」ということが不可能になっている状況から、私たちは何を読み解いているでしょうか。霊的なつながりと深い平和についてどう考えているでしょうか。年頭

6  
2020

書簡にこうあります。「わたしのいのちは、わたしのいのちだけで存在しているのではありません。地球のさまざまな生物のいのちとつながっています。貧しい人のいのちともつながっています。他の宗教の人、他の国の人、他の民族の人と全部つながっています。病人や、高齢者や、こどもたちともつながっています」。

東京オリンピックを目前にした華やかな雰囲気で盛り上がっている初夏を、誰もが予測していたのではないでしょう。未来のことは誰にも分からないというのを改めて知らされた思いです。それでも人間は、いつの時代でも、直面した状況に強くしなやかに対応して、さらにそこから大切なことを学んできたはず。です。「集まる」ということが当たり前だった頃、教会を活性化しなければ、あれをやるう、これをやるう、そんな「強迫観念」に捕らえられたことはなかったでしょう。しかし集まれなくなりました。今、ただ日曜日に集まる、それだけのことがどれだけ尊くすごいことだったのか、逆に、それ以外に何が必要なのか、いろいろなことを再認識できたのかもしれない。新型コロナウイルスの感染拡大という事態に直面して、病者、高齢者、他宗教の方々、他国や他民族の人々…、

すべてのいのちを守るために「集まる」ということを犠牲にしながら、私たち教会も新しくされていくのを見出しているのではないのでしょうか。

(菅原友明)

すべてのいのちを守るため  
『教皇フランシスコ訪日講話集』を読む③

私は宣教する巡礼者として参りました

「私は日本に共感を、愛着を憶えていました。それが今、実現したので」との言葉で、訪日は始まります。

「聖フランシスコ・サビエルによって蒔かれた種は、ついに二十六聖殉教者に始まり、高山右近、そして数多くの切支丹の方々が流した信仰の証によって実を結んでいく、聖なる地である」と教皇は日本への尊敬の念をもって語り始めました。

今回の訪日のテーマは「すべてのいのちを守るため」ではありますが、教皇は「いのちを守る」ためだけでなく、いのちの尊さを語ろうとしています。その時、まず思いをはせるいのちは、信仰のため

に流されたいのちです。その流された血は、「いのちの運び手」。ヘブライ人たちは血にいのちがあると考えて、血は神の手の中にあると考えていたようです。

アダムの「ダム」は血を表すとすれば、アダムは最初にいのち「血の勢」をいただいたもの。また「アダマ(土の塵)」に神の「ルハー(息吹、霊、いのち)」を注がれて「アダム」になったとすれば、彼らは言葉そのものの中に「本質」を伝えようとしたと考えると、何か言葉遊びが楽しくなります。

人間が生きる(息する)こと自体、神の恵みの中にあると考えていたことになります。「いのち」も「生きる」こともすべて神の恵みと考えるなら、そこに人間の本質的な姿が浮かび上がってくるのです。

殉教ということは、その神にいのち(恵み)をお返しすることだから、感謝と賛美のしるし、人間の本质であると信仰は教えてくれるのです。

マルチルという言葉

殉教と訳す「マルチル」というギリシア語には、二つの意味があります。一つは、教えのために命をかけること(すな

わち一般に言う殉教のこと)、もう一つは「証し」と訳され、言葉の正しさを行いによって直すという意味です。

しかしその言葉は、口で虚しいものとするべきではなく、いのちの言葉なのです。御子キリストはいのちの言葉(ロゴス)だから、私たちが使う「証す」という言葉は、「言葉で証言する」というよりもっと深い意味を持っています。「言葉をもって信仰を表現する」ということは、「いのちの言葉をもって語る」こと、言いかえれば「いのちをかけて神のコトを明かす」ということなのです。

ですから教皇様が「マルチル」という言葉を語られる時、「それが現れるまで日本のみなさん、あなた方はそれができる優れた人々、それをあなた方の信仰の物語としてください」と励ましてくださっているのだと思います。

なぜ「巡礼者として参りました」と言い、なぜこの巡礼を長崎から始められたかとの答えはここにあると思います。つまり長崎に信者が多いということではなく、四百年以上にわたり信仰を「証した」この国に平伏すことから始めるとの意味があったのだと思います。

でもそれは難しいことを言っておられるのではないのです。それは日常の平凡

な生活が宣教の場であり、祈りの場、神と人との出会いの場だと励ましてくださるのです。ほほえみと思いやりの言葉で始まります。

私たち京都教区は「社会と共に歩む教会」を宣言し、日本の教会は「社会に開かれた」教会を宣言したはずです。人々の前に謙虚にひざまずいて「対話」といのちの文化を生き抜きましょう」との教皇の呼びかけに前もって応じていたこととなります。

### コロナウイルスの猛威に対して

こんな教皇様の宿題を考えている中で、事態は思いもしない状況に入ってしまった。これについて一言触れなければいけないと思いました。幼稚と思われるかもしれませんが、幼児のような素直さと、優しい心で聞いて(読んで)ください。

「殉教者」に対立する概念は「迫害者」です。今、私たちが直接対立する相手は「コロナウイルス」という得体の知れないウイルスです。このウイルスは、数多くの目に見える「信仰の敵(サタン)」に代わって私たちの生活を、今を脅かしています。それに対して今、実に多くの

人々がいのちをかけて戦っています。私たちもその一人です。

私たちはこの患者、医療関係者、感染の憂き目に遭った人々を支えることではできないのでしょうか。どんな良い手段があるか上手には申せません。ただ、心落ち着け、視点や視線を変えて対応するさだだと思います。そこに私たちの「マルチル(証し)」の場があるということです。愚かなことを書きました。でも、何かを讀み取ってくだされば幸いです。憂い戸惑う者の一人として、ご健康を祈ります。

(村上透磨)



教皇来日時、東京ドームのミサ前に

## 2019年度カトリック京都司教区 決算報告

平素より、京都司教区のために、ご支援ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

今年はコロナウイルス感染症の感染拡大でいろいろな教会活動が滞っており、皆様もご苦勞しておられることと思います。さて、2019年度(2019年1月1日から12月31日まで)の、京都司教区の法人本部の会計の決算について主な点をご説明させていただきます。

### 教区本部会計について

当年度の決算は収益計495,840千円、費用計は470,054千円で、当期正味財産増減額は25,786千円のプラスとなりました。尚費用のうち80,000千円は福音宣教基金とさせていただきます。

#### 1. 収益について

- ①小教区からの納付金は(A)～(D)は年々減少しています。2018年度と比べても6,718千円の減少となっています。
- ②収益事業損益は河原町敷地内ホテル再建設に係る土地借地権者からの「引越補填金」247,469千円を受け取り、昨年対比667%でした。尚この金額は河原町教会の耐震工事費用等に支出いたしました。

#### 2. 費用について

- ①神学生養成費は通常の負担の他、神学生2名(出水神学生・久保神学生)の経費を計上しております。昨年は出水神学生1人分の経費でしたが、本年度は運営基本分担金が減額されたため、昨年度に比べ19千円の減額になっています。
- ②人件費は昨年に比べ7,063千円の増額です。福利厚生費が昨年対比153.9%。これは田中司教様の療養、医療費7,239千円の支出によります。

### 終わりに

2019年度は黒字決算となりました。今後も新司教区ビル建設等で出費があると予測されます。

今年はコロナウイルス感染症で人々が大きな痛手を受けております。その社会のなかで教会としてどのように使命を果たしていくかが問われていくことと思います。今後とも、皆様のお祈りとご協力をお願い致します。

2020年6月1日

カトリック京都司教区

本部事務局長 北村善朗

## 京都司教区 2019年度 教区本部決算報告書

自2019年1月1日 至2019年12月31日

(単位：千円)

科 目	実 績	科 目	実 績
<b>I 経 常 費 用</b>	307,079	<b>I 経 常 収 益</b>	475,362
1 福音宣教活動費	56,494	1 納付金収入	161,708
祭儀費	1,323	司教司牧納付金	1,997
教育養成費	2,410	司祭司牧納付金	6,792
神学生養成費	7,940	小教区納付金(A)	31,851
諸委員会活動費	5,051	小教区納付金(B)	71,186
教区事業活動費	34,051	小教区納付金(C)	13,353
諸活動団体補助金	491	小教区納付金(D)	1,223
アジア交流費	0	福音宣教協力金	2,156
済州交流費	2,122	建設分担金収入	33,150
国際交流費	365		
会議費	1,715		
図書費・諸会費	196		
福音宣教企画室	830	2 福音宣教企画室	30
2 管理費	235,104		
人件費	111,341		
維持管理費	41,366		
事務管理費	19,113		
減価償却費	63,284		
3 寄付金支出	50	3 寄付金収入	39,932
		一般寄付金収入	39,932
		その他の寄付金	0
4 特定献金支出	9,079	4 特定献金収入	9,079
5 墓地勘定支出	6,352	5 墓地勘定収入	12,534
墓苑管理・整備費	6,028	墓苑使用料	2,680
(神の園)管理祭儀費	324	墓地祭儀収入	9,581
		(神の園)使用料収入等	273
		6 雑収益	4,610
		預金利息収入	4,565
		雑収入	45
		7 収益事業損益	247,469
<b>II 特別勘定支出</b>	532	<b>II 特別勘定収入</b>	15,484
一万匹の蟻	532	一粒会	13,154
		アジア基金	631
		済州基金	732
		一万匹の蟻	532
		国際協力基金	435
<b>III 経常外費用</b>	162,443	<b>III 経常外収益</b>	4,994
固定資産売却損	0	固定資産売却益	3,900
投資有価証券売却損	293	投資有価証券売却益	1,094
墓地積立金繰入	2,738	墓地積立金取崩益	0
固定資産除却損	75,571		
特別積立金繰入	0		
雑損	3,841		
福音宣教基金	80,000		
<b>費用計</b>	470,054	<b>収益計</b>	495,840
当期正味財産増減額	25,786		
<b>費用合計</b>	495,840	<b>収益合計</b>	495,840

## 大塚司教の6月のスケジュール

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、スケジュールの変更がありますので、最新の情報は京都司教区のホームページにてご確認ください。

## 6月のお知らせ

### 教 区

聖書委員会 / Tel.075(366)6609 ㊦㊧

#### 聖書講座

今年度の講座は中止

よく分かる聖書の学び

当面の間休止

#### 広報委員会

お知らせに載せたい情報は、原稿締切り日までに教区広報委員会宛メール honbu@kyoto.catholic.jp または Fax.075(366)6679 に発信者のお名前を明記してお寄せください。

※ 8月号の原稿締切り日は6月24日㊦です。

### 諸 団 体

#### 京都カトリック混声合唱団

練習：14日㊦ 14:00 洛星宗教研究館

27日㊦ 18:00

ミサ奉仕後 河原町教会聖堂

#### コーロ・チェレステ(女声コーラス)

当面の間練習はお休み

#### 聴覚障がい者の会

手話表現学習会(聖書と典礼)

日 時：新型コロナウイルス感染拡大の状況により日程は未定。

問合せ：事務局 阿野 Fax:075(361)9082

#### カトリック京都働く人の家(九条教会内)

定例会：21日㊦ 15:30~17:30

対 象：15歳~35歳の方 どなたでも

問合せ：090(8207)1831 瀧野

#### 心のともしび 番組案内

ラジオ(KBS京都) ㊦~㊧ 朝5:55 ㊨ 朝5:15

(ラジオ関西) ㊦~㊧ 朝5:00 ㊨ 朝6:05

6月のテーマ「ある人の一言」

#### 京都教区カトリック正義と平和協議会

6日の学習会は中止になりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、掲載の行事が変更となる場合があります。各団体にご確認ください。

## 運営委員紹介②

運営委員は今年で3年目になります。引き続き頑張りますので、よろしくお願いいたします。

(京都南部地区・田辺教会 松浦 隼人)

社会人3年目、運営委員は4年目です。新型コロナウイルスが収束したら、今まで動けなかった分、イベントを企画していきたいと思っていますので、皆さんぜひ参加してください！ いつも私たちのためにお祈りしていただき、ありがとうございます。

(京都北部地区・西舞鶴教会 小林まゆか)

今年度も運営委員をさせていただきます。青年たちのために、今後ともお祈りをよろしくお願いいたします。

(京都南部地区・河原町教会 奥壘のぞみ)

## 事務員紹介

事務員になって、1年が経ちました。初めは分からない事ばかりでとても大変でしたが、たくさんの方が助けてくださったおかげで、少しずつですが成長することができました。これからも、青年センターを支えることができるよう頑張ります！

(滋賀地区・唐崎教会 池田瑠智亜)